

# 観光プラットフォーム構想

2019/08/06版



株式会社 スオウ

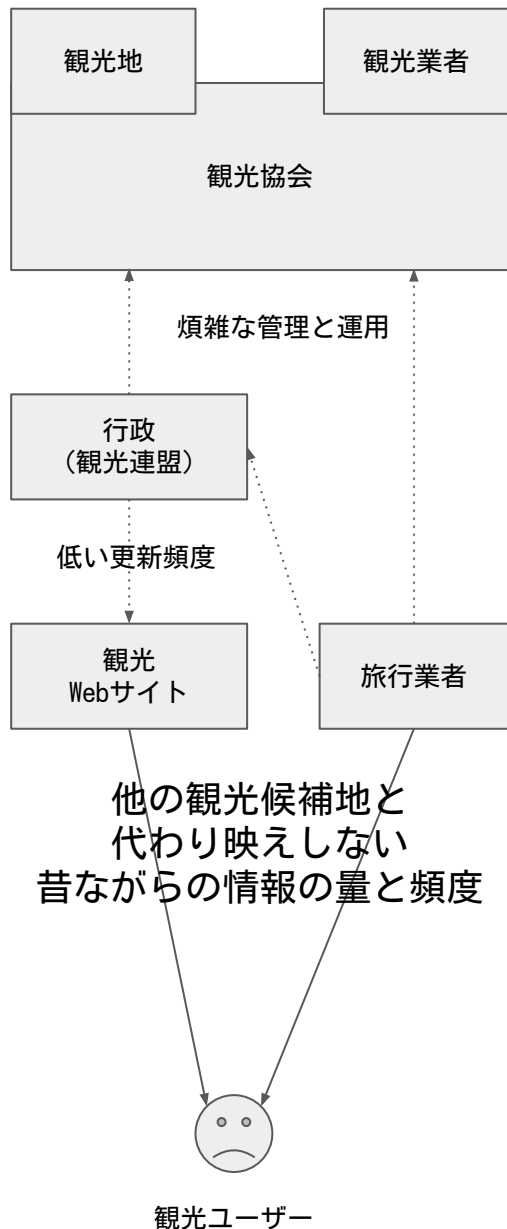
# ゴール

**5年後に西日本で一番訪れてもらえる  
観光サービスとその基盤を構築する**

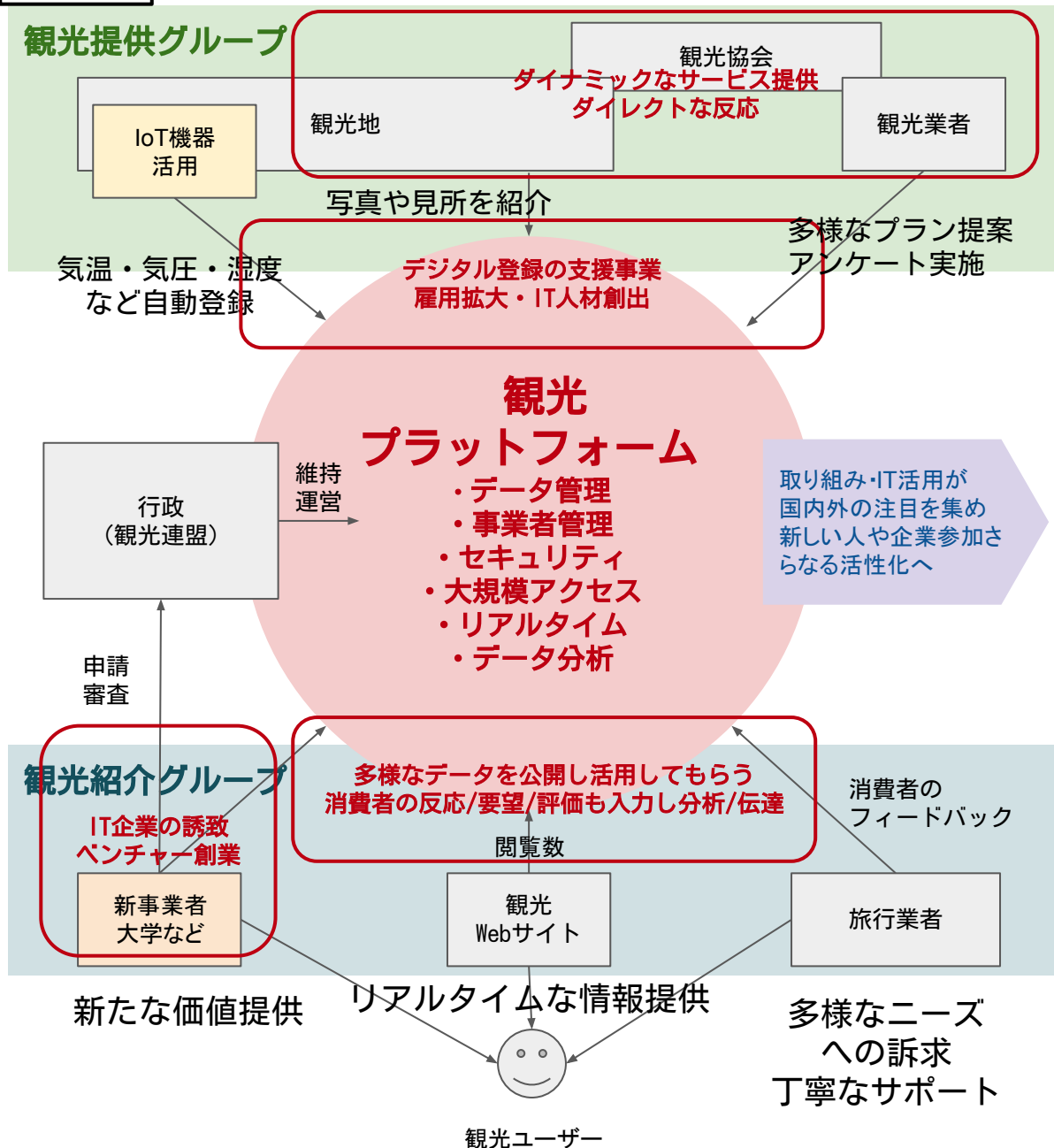
- 資料アジェンダ
  - 概要図：理想のイメージ
  - 概要図解説：産学官民の役割/連携
  - ロードマップ：小さく始めて大きく

# 概要図

現状



理想



# 概要図解説

- 観光プラットフォームとは？
  - 行政が観光に関わる全ての情報（テキスト・画像・動画）をWebシステムで一元管理します
  - 行政は観光提供グループに対してデータ登録の環境（Web・アプリ）を提供します
  - 行政は環境紹介グループに対してデータ提供/加工の環境（API）を提供します
  - 行政は観光を活性化させるためにグループ業者者を拡充/監督/審査します
  - 行政（の委託者）はWebシステムの運営/改修を行います
- 観光提供グループとは？
  - 観光サービスの提供する観光地や観光業者、及び観光協会（連盟）を指します
  - 提供業者はWebシステムを通して特定のフォーマットで観光情報を登録・更新できます（多様なプランや金額設定が可能になります）
  - 提供業者はWebシステムを通して消費者の反応/レビューを見ることで、すぐに需要や売り上げ予測を知ることができます（価値提供の試行錯誤が可能になります）
- 観光紹介グループとは？
  - 観光サービスを紹介する観光サイトや旅行業者を指します
  - 紹介業者はWebシステムを通して観光情報を即時でWebサイト・DM・通知など多様な手段で消費者に知らせます（最適な提案やフィードバックなど顧客獲得が評価されます）
  - Webシステムのデータ活用/分析で貢献できる大学やベンチャー企業は、行政の審査を経て紹介業者として登録が認められます（データ活用のプロをWebシステムに取り込みます）

# ロードマップ

- 外部トライアル期（1年目）

- 行政とは無縁に、観光サービスにおける1つの課題解決（観光提供グループ→観光提供グループ）に特化したITツール/サービスを開発運用してその効果を測る
- 例1）閑散期が多い/影響されやすい観光業で、需要の少ない日や雨天時に価格を調整する
- 例2）観光地の隠された何気ない写真を毎日公開してアピールする
- 例3）自分の属性や価値観に近い人に絞った観光地レビューを閲覧できる

- 市レベル・行政判断期（2～4年目）

- 任意の市で予算を計上し監督のもと、ITサービスを任意の分野/業種に絞り拡充し本格的に運用することで、プラットフォーム化への投資判断を行う

- 県レベル・行政プラットフォーム化（5年目以降～）

- 複数の市連携、または県レベルの意思決定が行われ、大きな予算計上でプラットフォームを一丸となって拡充していく